

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和2年9月調査）

1 調査結果

～ 景気の状態判断が新型コロナウイルス拡大前の水準まで上昇 ～

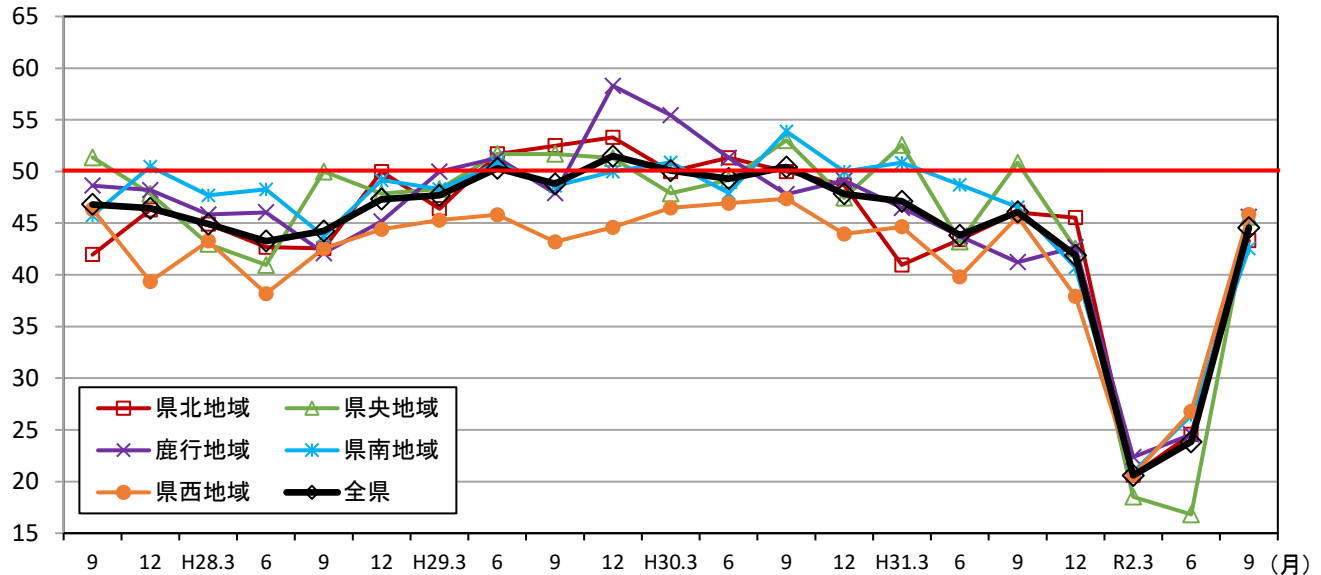
☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気の方角性（景気が上向きか下向きか）を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。
	9月調査結果	前回調査との差	9月調査結果	前回調査との差	
県全体	44.6	+20.8	42.7	+1.2	<参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
県北	43.3	+18.7	40.2	+2.1	
県央	45.6	+28.8	46.1	+0.6	
鹿行	45.6	+21.0	46.1	+8.6	
県南	42.5	+16.1	39.5	-3.0	
県西	45.8	+19.0	41.7	-2.5	

○県全域で、景気現状判断DIが新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで上昇した。県全体の景気先行き判断DIは上昇したが、小売や飲食関連など家計動向関連の分野では低下が見られた。

○ウォッチャーからは、新型コロナウイルス、外出自粛、GoToキャンペーン等に関するコメントが多く寄せられた。

(DI) 景気の状態判断DIの推移（地域別）



〔調査の概要〕

- ・ 調査客数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和2年9月4日から20日まで）
- ・ 回答率 … 93.7%（300名中281名から回答）

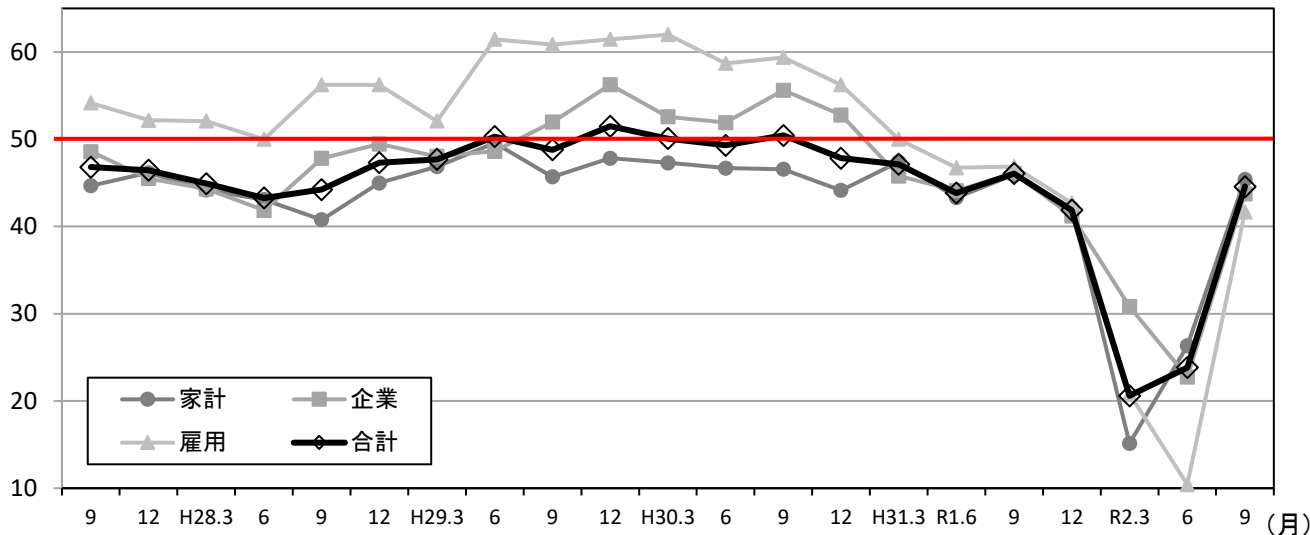
（地域区分）
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

(DI)

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
合計		46.1	41.9	20.6	23.8	44.6
家計動向関連		46.0	42.1	15.1	26.3	45.4
小売関連		44.3	36.5	20.5	35.2	42.1
飲食関連		40.9	39.3	16.7	17.5	47.4
サービス関連		49.0	47.3	9.0	19.7	49.0
住宅関連		43.8	46.9	25.0	39.3	35.7
企業動向関連		46.1	41.2	30.8	22.8	43.8
農林水産業		57.1	40.6	42.9	21.4	33.3
製造業		42.7	38.5	29.1	24.0	47.4
非製造業		48.6	45.0	30.9	21.3	40.4
雇用関連		46.9	42.7	20.8	10.4	41.7

景気の現状判断DIは、前回調査より20.8ポイント上昇したものの44.6となり、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より19.1ポイント上昇したものの、21期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より21.0ポイント上昇したものの、7期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より31.3ポイント上昇したものの、6期連続で50を下回りました。

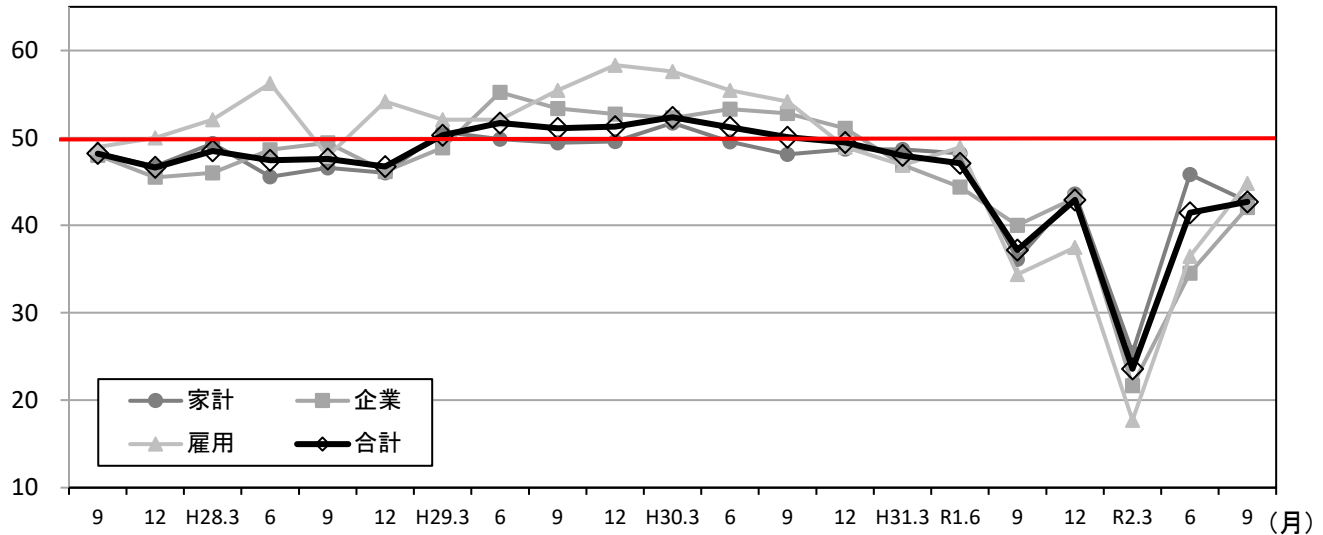
《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県北：小売業（水産物））新型コロナウイルスの影響が大きい。飲食業者からの購入が大幅に減っている。一般客も、購入量が増加していない。
- ・（鹿行：旅行代理店）GoToキャンペーンを使つての個人旅行が少々入ってきている。
- ・（県央：製造業（金属製品））新型コロナウイルス前の受注残もほぼ消化し、今後新型コロナウイルスの影響をまともに受けることになる。今期に入ってからの受注は前年比50%程度となっており、非常に厳しい状況。
- ・（県南：運輸業（倉庫業））新型コロナウイルスの影響でアルコール関係の入出荷が9月は減少方向に進むと思われたが、3か月前と比較してやや上向きになっている。しかし、全体的には落ち込みが多い。特に運輸関係は厳しい状況にあり、回復する兆しが無い。
- ・（県西：求人開拓員）一部の製造業の事業所の採用担当者から、最近仕事が増えてきているという声も聞いている。また、ハローワークの求人票も、一時の落ち込みからは回復している様子が窺える。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
合計		37.2	42.9	23.6	41.5	42.7
家計動向関連		36.1	43.6	25.4	45.8	42.8
小売関連		29.5	42.3	20.8	43.6	41.8
飲食関連		35.2	45.2	40.5	57.5	44.7
サービス関連		42.5	43.6	26.3	45.7	44.5
住宅関連		31.3	50.0	15.6	35.7	28.6
企業動向関連		40.0	43.1	21.7	34.6	42.0
農林水産業		46.4	37.5	35.7	35.7	37.5
製造業		38.0	42.7	20.9	38.5	43.8
非製造業		41.4	45.0	19.9	28.7	40.4
雇用関連		34.4	37.5	17.7	36.5	44.8

景気の先行き判断DIは、前回調査より1.2ポイント上昇したものの42.7となり、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より3.0ポイント低下し、10期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より7.4ポイント上昇したものの、7期連続で50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より8.3ポイント上昇したものの、8期連続で50を下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（県北：ボウリング場）年末の時期に実施予定だった団体客から、新型コロナウイルスを理由としたキャンセルの連絡が相次いで入っている。今後もキャンセルが見込まれる上、新型コロナウイルスの状況によっては悪化する恐れもあり、景気の先行きは明るくないと予想する。
- ・（県南：コンビニエンスストア）エリアによると思うが、身近な商圈を確認している限りでは良くなってきている。今まで外食で食事を済ませていた人が、自宅で食事をとる機会が増えたことにより、コンビニエンスストアの売上げは上昇すると思われる。
- ・（鹿行：建設業）新型コロナウイルスによるコロナ禍で、家を建てようとする人は減っていくと思われる。
- ・（県西：製造業（電気機械器具））今年は新型コロナウイルスの影響により、景気はこのまま悪い状態が続くと思われる。早くワクチンができることを期待したい。
- ・（県央：公共職業安定所）全産業における求人数が対前年同月比でマイナスとなっている。新型コロナウイルスの影響が企業における業績悪化の要因となっている。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは43.3となりました。前回調査より18.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（スーパー）チラシを持って買い物をする客が多く見られる。商品の場所も聞かれるので、初めての方も多くいるようである。スーパーをまわって少しでも安い物を買う姿勢が見える。
- ・（学校就業関係者）新たな求人がなくなった。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは40.2となりました。前回調査より2.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（観光型ホテル）今後3か月先についても、団体宿泊、日帰り宴会が見込めない状況であり、景気はやや悪くなっていると判断する。
- ・（製造業（電気機械器具））液晶・半導体製造装置関連や自動車関連はあまり動きがないが、原子力関係で多少動きが出てきた。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（金融業）長期化が見込まれる新型コロナウイルスへの対応としてWeb会議システムの導入等が地方においても活発化してきている。また、スナック等の接客を伴う飲食店の廃業に向けた動きが見られている。
- ・（求人開拓員）近所に大型ショッピングセンターがあるが、以前は土日祝日等は車が駐車場からあふれていたが、この頃は土日祝日でもかなり空きが目立っている。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは45.6となりました。前回調査より28.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（タクシー会社）緊急事態宣言解除後、夜間の利用客も若干戻りつつあった中で、大工町で感染のクラスターが発生した直後から一気に夜間帯の営業が冷え込んだ。
- ・（不動産業）3か月前と比べて来客数が増加しており、前年比で比べても増加している。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは46.1となりました。前回調査より0.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（小売業）新型コロナウイルスは現状よりは回復していると思われ、年末に向けて消費マインドが回復していくと想定。新内閣による行政改革への期待がある。
- ・（学校就業関係者）新しい生活様式のもと様々な不安のある中で前に進もうとしているが、第2波、第3波の懸念による自粛ムードからの脱却には相応の時間が必要ではないかと感じる。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・（製造業（食料品））想像していないところで閉店や廃業が発生している。取引業者の廃業で新たな仕入れ先を探す事態となっている。
- ・（求人開拓員）9月11日に実施した「元気いばらき就職面接会」において、来春卒業予定の新卒者の参加が予想より多かった。来春新卒者が雇用環境の厳しさを感じていることの表れかと思う。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは45.6となりました。前回調査より21.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (ゴルフ場) かなり値下げしないと集客ができない状況が続いており、景気の回復感は感じられない。
- ・ (民間職業紹介業) 人員の依頼等が増えてきており、企業担当から聞いている情報も、徐々に景気が戻ってきているようであるとのこと。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは46.1となりました。前回調査より8.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (小売業(菓子類)) 国の様々な景気回復対策によって経済活動が活発化する。
- ・ (金融業) ウィズコロナにより具体的な感染対策と予防を取れば感染リスクが軽減されるということは浸透してきている。しかし、大方の経営者からはワクチンが出来るまでは今の状態から回復するのは難しいのではないかと多くの意見が多い。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (コンビニエンスストア) レジ袋の利用者が非常に減っている。エコバッグを活用する客が多いことから、お金に対してシビアに感じている人が多い。
- ・ (農業関係者) 人々が家で過ごす時間が増えており、家庭で料理する機会が増え、野菜を買う人が増えている。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは42.5となりました。前回調査より16.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (家電販売店) 新型コロナウイルスに係る給付金などがあった3か月前と比較すると、家電の購買意欲は大きく下がっている。
- ・ (製造業(印刷・同関連業)) 4月、5月頃には中止や規模の縮小となっていた公的団体の事業、行事などが徐々に実施や自粛緩和の動きがでてきた。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは39.5となりました。前回調査より3.0ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (都市型ホテル) 現在以上に厳しい状況になる。今現在予約を受けている忘年会・新年会のキャンセルや婚礼の少人数化、宿泊・レストランの低迷が予測され、更に悪くなっていると思える。
- ・ (求人开拓員) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が浸透し、人の移動が始まり、企業の求人が期待できそうである。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (小売業(米穀)) 周辺テナントの家賃値下げ交渉が激しいそうである。駅周辺の時間貸しの駐車場料金も軒並み下がっている。
- ・ (農業関係者) 知り合いの飲食店が閉店となった。また、新型コロナウイルスのコロナ禍により、会社を解雇されて職を失い、当社アルバイトの応募者が増えた。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは45.8となりました。前回調査より19.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を26期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (レジャー施設) 新型コロナウイルスの最悪な状況からは徐々に回復している感じがある。来館者数も9月の連休は多く、ようやく人の流れが動き出した感じがある。
- ・ (求人広告) 採用できる企業の数が減っている。また、求人を出してもすぐ応募が集まる傾向がある。雇用情勢は非常に厳しいと感じる。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは41.7となりました。前回調査より2.5ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (商店街代表者) 秋、冬に期待したいが、新型コロナウイルスによるコロナ禍が落ち着かないと期待は薄い。
- ・ (金融業) ウィズコロナとして客も定着しつつあるものの、積極的な行動も特段見られず、今後3か月先においても変化はないものと思う。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (サービス業(コンサルタント業)) 飲食店街も、とにかく夜が静かになっているような気がする。
- ・ (学校就業関係者) 商品価格(乳製品、野菜)が高騰している。また、技術職への求人について、人手不足の影響か賃金の改善がみられる。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワード等を含むコメントを掲載しています。

- ・ 「新型コロナウイルス」に関するコメント 318件 (県北:73, 県央:65, 鹿行:59, 県南:67, 県西:54)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (製造業(電気機械器具)) 新型コロナウイルスの影響で工事延期の件などがあり、今後数か月は影響が出るものと思われる。
- ・ (公共職業安定所) 一部企業については、新型コロナウイルスの影響を受けておらず、業績を上げているところも見受けられる。

- ・ 「外出自粛」に関するコメント 46件 (県北:7, 県央:15, 鹿行:7, 県南:10, 県西:7)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (レジャー施設) 長い自粛生活により生活習慣が変わった。7月から営業を再開したが、8月、9月になっても客数の減少率は変わらない。
- ・ (製造業(窯業・土石製品)) 新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛や猛暑による屋外への外出の減少により、地域経済への影響が出てきている。

- ・ 「GoToキャンペーン」に関するコメント 21件 (県北:6, 県央:8, 鹿行:3, 県南:1, 県西:3)

《景気ウォッチャーの主なコメント》

- ・ (ドライブイン) GoToトラベルやGoToイートキャンペーン等、国の施策に期待したいが、景気回復までには時間が掛かると思われ、数年厳しい状況は続くと思われる。
- ・ (都市型ホテル) 政府施策のGoToキャンペーンも焼け石に水といった感じで、効果など全く感じられない。とにかく新型コロナウイルスの感染を収束させることが最優先である。収束したなら何もしなくても経済は復活するだろう。